



# 町長回誌 No.109

町長日誌の第109号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

**11月15日(木) PM3:00**

今月は、3回東京へ出張があり、その1回目が13～14日でした。現在検討中のバイオガス事業の補助事業化に向けた農林水産省との協議に行っておりまいました。その14日に国会では党首討論が行われ「16日解散」と俄かにマスコミは騒がしくなってきましたが、巷では忘年会のキャンセルなども予想されますし、役所では大型補正予算が組まれることを期待していた向きもありますが、それも淡い夢となってしまいました。今、子供たちがTVゲームの影響を受けて想像の世界と現実がごっちゃになってしまっている問題視する教育専門家もいますが、今の政治も何かテレビの中だけの世界のように思えてくるのは私だけでしょうか。総理が「16日に解散します。やりましょう！」と渾身の気迫で安倍総裁に迫ってもテレビ画面の右下に「つづく」と出てくるドラマの様な気がしてなりません。国民は今、政治に対する「不信感」と経済の「不況」そして生活の先行きへの「不安」、この「三つの不」に困っていることを政治家が理解し、一日も早い改善がなされる選挙になる事を願うばかりです。

**10月28日(日)**

沙留・興部両小学校の学芸会が行われましたので、半分ずつ見せて頂きました。最初に沙留小学校の学芸会を見ました。沙留小体育館のステージは学校では珍しく巻き上げ式の緞帳なのですが、上げ切った時にワイヤーが挟まり下りなくなってしまい、幕間も幕を上げたままで校長先生がとても申し訳なさそうにされていましたが、子供たちはそんなことはお構いなしで素晴らしい発表を見せてくれました。前半が終わったところで興部小学校に移動して見せて頂きました。興部小は体育館が大きいので、例年劇などで子供たちの声が聞こえない事も多かったのですが、セリフがしっかりと聞こえ、表現力も豊かで、特に高学年の楽器演奏は良かったです。両校とも6年生をリーダーに学芸会進行の役割をこなし、発表も素晴らしかったです。指導された先生方にも感謝しています。

**11月1日(木)**

酪農が盛んな町村で組織しています「北海道酪農振興町村長会議」の役員で道庁農政部と喜多道議会議長に対し、厳しい予算の中で削減が噂されています。「草地基盤整備事業の道費負担分の維持」を要請してきました。現在5ヶ年計画で興部町は草地の整備や牛舎施設などの整備を行うため「公社営事業」を行っています。この事業は、国費50%の補助事業で、さらに道費15%の上乗せを行っています。燃料や飼料・資材などが高止まりで酪農経営も規模拡大で何とかやり繰りしているのが現状ですので、酪農地帯の良質粗飼料確保のため大切な事業である事を強く訴えてまいりました。

**11月9日(金)～12月**

11月に入り毎日のように雨が降っています。また、例年より暖かいため漬物作りに苦労されているご家庭も多いかと思えます。9日は、朝から強い雨が断続的に降り、午後には湧別川・渚滑川の水嵩が増え警戒水域に達しましたが、興部川も夕方かなり水位が上がリ、一部元町の道路が冠水する被害がありました。また、宇津地区山間の降雨量もかなり多く、宇津浄水場の水源地の濁度が高くなり、あわや断水かと思われましたが、職員の頑張り雨と雨が止んだこともあり何とか断水にならずに済みまし。ところが、落ち着いたと思われた11日(日)からは、細かく砕けた枯葉が原水を吸い上げる目皿に詰まる現象に見舞われ、12日には古い取水地を使い何とか断水の危機を回避することが出来ました。今迄この様な事はあまりなく、気候の変化はこの様なところにも影響を及ぼしているのです。

さて、国会で与野党が揉めたために法案が成立していなかった「特例公債法案」は、解散が決まった途端にあっという間に成立して、19日には遅れていた11月分の地方交付税交付金が市町村に交付される通知がありました。これで今年度分の普通交付税は予定通り全額交付されますのでご安心ください。

17日(土)からは1週間の予定で東京へ今月2回目の出張です。その後、28日から3回目の東京出張がある予定です。お陰様で体調も良いです。いよいよ寒い季節です。風邪に気を付けて師走をお迎えください。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。